

## 企業のイノベーション活動における波及効果の識別

五十川大也\*

大橋弘†

### 要旨

本稿では、企業のイノベーション活動における波及効果を識別するためのフレームワークを提示する。このフレームワークでは、企業の戦略的意思決定に関する情報を用いて、民間企業がイノベーション活動の成果を完全には占有できないことから生じる正の波及効果、イノベーションの成果が製品市場での競争を通じて競合他社の顧客を奪取する負の波及効果の二つをそれぞれ識別する。わが国におけるイノベーション調査の結果を用いた推定の結果、正の波及効果および負の波及効果の存在が確認されたが、同一市場内では正の波及効果の大部分が負の波及効果で打ち消される傾向が見られた。推定結果を用いて研究開発補助金に関する政策効果分析を行ったところ、現状の補助金は民間企業のプロダクト・イノベーションの促進には繋がっているものの、負の波及効果の存在によって平均的な企業利潤は必ずしも増加しないことが明らかになった。

*Keywords:* Product Innovation; R&D subsidies; Static oligopoly models; Structural estimation

*JEL Classification Codes:* C31; L13; O32; O38

---

\* 東京大学大学院経済学研究科。E-mail: [isogawa@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:isogawa@e.u-tokyo.ac.jp)

† 東京大学大学院経済学研究科